

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4 年 11 月 19 日

設置・運営主体	社会福祉法人すこやか福祉会		
設置主体			
経営主体			
事業所名 (施設名)	八潮市立おおぜ学童保育所	種別	放課後児童クラブ
所在地	〒 340-0822 埼玉県八潮市大瀬3-9-1		
電 話	048-998-9088		
FAX	048-953-9211		
Email	ooze_gakudou@sukoyaka-fu.or.jp		
U R L	http://gakudo.sukoyaka-fu.or.jp/		
施設長氏名	松岡 愛子		
調査対応担当者	松岡 愛子 (所属、職名： 保育事業部保育副部長)		
利用定員	83 名	開設年	平成 29 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
1) 子どもの最善の利益を守り、成長発達の権利を保障する。 2) 働く父母の権利と生活を保障する。 3) 職員の働く権利と労働条件を保障する。 4) 地域に根差し、地域の子育てを伝え、地域の子育てを応援する。 5) 地域の保育需要を把握し、事業展開していく。			
開所時間 (通所施設のみ)	10時30分～19時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○放課後児童クラブの場合

	利用児童数	クラス数	定員	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均支援員数
小学1年生	33	2	83	42	4
小学2年生	25				
小学3年生	25				
小学4年生					
小学5年生					
小学6年生					
計	83	2	83	—	—

(注) 1クラスあたり平均支援員数は放課後児童支援員のほか補助員を含む。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合計	名	名	名

【職員の状況に関する事項】

○放課後児童クラブの場合

支援員数	10人	
うち	放課後児童支援員	8人
	補助員	2人

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

人

・ボランティアの業務

【実習生の受け入れ】

・令和 年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○放課後児童クラブの場合

(1) 建物面積 (放課後児童クラブ 使用面積)	150.76 m ²	
	児童1人あたり	1.88 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(3) 建築 (含大改築) 年	平成	23 年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・八潮市による毎年行う利用者アンケート
- ・保育事業部共有の利用者アンケート
- ・保護者会

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・公立学童から指定管理を受け、おやつは菓子類中心の所では、法人として体づくりの基本になる食を、成長段階にある子どもにとって3度の食事で補えない補食のひとつととらえ手作りおやつを取り入れている。
 - ・発酵食品の取入れとして、梅干し・うめジュース・たくあん・味噌作りを行いおやつに取り入れている。
 - ・近隣の畑で収穫された、きゅうり・玉ねぎ・トマト・じゃがいも・にんじん・ピーマン・大根などを使った献立を取り入れている。
- ・さつま芋を育て親子で芋ほり経験を行っている。
- ・法人内にある近隣保育園共催で保護者と一緒にバザールを行っている。学童としては、保護者アイデアのゲーム・手作り物品販売、学童ではゲーム（ストラックアウト）学童で人気のカードゲームを手作りして販売、ストラックアウトの景品は子どもたちの手作り（プラバン・アイロンビーズ等）喜ばれています。
- ・夏には、夏の風物詩として流しソーメンをおやつに取り入れています。（コロナ禍を考慮した形で取り入れている。）
- ・ここ最近社会現象としてハロウィンが騒がれる中、子どもたちの中から、それぞれのアイデアで手作り衣装をつくり、学童から近隣保育園にまで行き衣装を披露、「トリック オア トリート」とお菓子を頂いたり、園児に見せたり、卒園児は古巣に戻り先生達と成長を改めて感じるひと時にもなっています。ここ2年はハロウィンですが、法人内の保育園だけでなく近隣の保育園とも交流できるものと考えていきたいと思う。（年長さんに学童を楽しみにしてもらえようにと考える。）
- ・法人内の介護職員の協力を頂き、介護体験も取り入れている。（車いす・盲目歩行など）

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

_____ 回 (平成 _____ 年度)